

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●菅原明良騎手がJRA通算300勝を達成

6月8日(土)の3回東京3日・第5レースではコートアリシアンが1着となり、同馬に騎乗した菅原明良騎手(美浦・高木登厩舎)は、現役46人目となるJRA通算300勝(3968戦目)を達成しました。

●大江原比呂騎手がJRA初勝利をあげる

6月9日(日)の3回東京4日・第4レースではズイウンゴサイが1着となり、同馬に騎乗した大江原比呂騎手(美浦・武市康男厩舎)は、JRA初勝利(89戦目)をあげました。

●北出成人調教師がJRA通算300勝を達成

6月8日(土)の4回京都3日・第2レースではセールヴォランが1着となり、同馬を管理する北出成人調教師(栗東)は、現役68人目となるJRA通算300勝(延べ4830頭目)を達成しました。

●宮田敬介調教師がJRA通算100勝を達成

6月8日(土)の3回東京3日・第4レースではアドマイヤマツリが1着となり、同馬を管理する宮田敬介調教師(美浦)は、現役145人目となるJRA通算100勝(延べ794頭目)を達成しました。

●重賞ウイナー6頭の競走馬登録抹消

2023年サンケイスポーツ賞フローラS(GII)の勝ち馬ゴールデンハインド(牝4歳/美浦・武市康男厩舎/JRA通算9戦2勝・地方1戦0勝)、2023年アイルランドトロフィー府中牝馬S(GII)の勝ち馬ディヴィーナ(牝6歳/栗東・友道康夫厩舎/JRA通算19戦5勝・海外1戦0勝)、2022年産経賞セントウルS(GII)などの勝ち馬メイケイエール(牝6歳/栗東・武英智厩舎/JRA通算18戦7勝・海外2戦0勝)、2020年阪神大賞典(GII)などの勝ち馬ユーキャンスマイル(牡9歳/栗東・友道康夫厩舎/JRA通算36戦6勝)、2021年京都新聞杯(GII)の勝ち馬レッドジェネシス(騾6歳/栗東・小林真也厩舎/JRA通算19戦3勝)、2023年スーパーキングレディーC(川崎・JpnIII)の勝ち馬レディバグ(牝6歳/栗東・北出成人厩舎/JRA通算16戦5勝・地方10戦1勝)は、3月28日(木)までに競走馬登録を抹消されました。ユーキャンスマイルとレッドジェネシスは乗馬、ゴールデンハインド、ディヴィーナ、メイケイエール、レディバグは繁殖馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●アンデスビエントが関東オークス(川崎)を逃げ切り圧勝

関東オークス(JpnII、3歳牝馬、6月12日、川崎、2100m)は、先手を取ったアンデスビエント(田口貫太騎手、父ドレフォン)がミスカッレーラ(船橋)を7馬身引き離し、1番人気に応えました。3番人気のイゾラフェリーチェは8着、2番人気のクリスマスパレードは9着、メイショウヨシノは10着と、他のJRA所属馬は不振でした。

●ウイナーC(水沢)は牝馬ミヤギシリウス【各地の主要3歳重賞】

ウイナーC(6月2日、水沢、1400m)は、3番手前後を進んだ2番人気のミヤギシリウス(牝、父アニマルキングダム)がゴール前で差し切り、あやめ賞に次ぐ2度目の重賞制覇。クイーンC(6月6日、笠松、1600m、牝馬)は、2番手から3コーナー手前で先頭に立った2番人気の愛知所属馬コールミーメイビー(父リオンディーズ)がそのまま押し切っています。

●JpnI格上げのさきたま杯(浦和)にレモンポップが登場

さきたま杯(JpnI、6月19日、浦和、1400m)は、昨年度JRA賞最優秀ダートホースに選ばれたレモンポップが中心、以下シャマル、イグナイター(兵庫)、タガノビューティー、サンライズホーク、バストラットレオンの順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ベルモントS〜ドーナックが米三冠の最終戦を制す

改修工事中のベルモントパーク競馬場から同じアメリカ・ニューヨーク州のサラトガ競馬場に場所を移すとともに、距離も2400mから2000m(ダート)に変更して現地6月8日(土)に行われたG1ベルモントS(3歳)は、逃げたG1ブリークネスSの勝ち馬シーズザグレイ(結果は7着)をマークするようにしてレースを進め、直線入り口で先頭に立ったドーナック(牡3歳、父グッドマジック)がそのまま粘り切って優勝しました。3月のデビュー戦を13馬身3/4差、5月の2戦目を7馬身半差で制して臨んだマインドフレームが2着。G1ケンタッキーダービーの勝ち馬ミスティックダンが8着に終わりました。勝ったドーナックは昨年のケンタッキーダービー馬メイジの全弟。昨年12月のG2レムゼンS(ダート1800m)で重賞初制覇を果たすと、今年3月のG2ファウンテンオブユースS(ダート1700m)も連勝。しかしその後はG1ブルーグラスSが4着、前走のG1ケンタッキーダービーも10着に終わっていました。鞍上のL.サエス騎手は2021年のエッセンシャルクオリティ以来のこのレース2勝目、管理するD.ガーガン調教師は初制覇です。